

歩行の再獲得を生きる 喜びに繋げる

『さよなら、暴言・暴力ネガティブ思考
こんにちは歩行！明るい未来へ』

使用している動画・写真に関しましてはご本人・家族の了承を得ております

【事例紹介】

Aさん 女性 86歳 介護度4

★性格★ 温厚で大雑把な性格

★趣味★ 散歩・カラオケ・音楽が好き

〈生活歴〉

若い頃お茶工場に住み込み、食事を作っていた。60歳まで製造業のパート勤めをしていた。平成20年(76歳)頃、認知症を発症。在宅サービスを使い生活していたが、在宅介護が限界になり平成26年3月24日(84歳)、千寿の園入所。

〈既往歴〉

平成19年 大腿骨頭部骨折・・・人口骨頭手術

平成20年 認知症(骨折入院後発症)・心筋梗塞

平成22年 心不全

平成23年 肝不全・食欲不振

平成26年12月3日 左大腿骨転子部骨折・・・骨折観血的手術

【ADL状況の変化】

〈入居時〉

移動:独歩 「帰りたい」と帰宅願望があり徘徊。

食事:自立(常食・刻み)

排泄:トイレ誘導 尿意、便意を言葉で訴える事はないが、立ち上がり等のサインあり。トイレ誘導を拒む事あり。

入浴:一般浴

言語コミュニケーションは可能。

〈左大腿骨転子部骨折(H26・12・24)以降〉

移動:車椅子(立位可)

食事:半介助(粥・超みじん)

排泄:定時のトイレ誘導

入浴:特別浴

声を掛けても「死にたい」。体に触れると手が出たり、怒る事あり。

暴言・暴力が激しくネガティブ発言が激しく
介助者の言葉も聞き入れず、介助が困難な状態。



明るく元気なAさんを取り戻したい・・・

『**楽しみのある生活**』

を見出すための支援を行った。

【具体的な取り組み】

- ①介護力向上の基本ケアの実践
(水分・栄養・排便・歩行)
- ②生活の楽しみを作る

①基本ケアの実践

水分:1500ml/1日以上水分摂取を促す

栄養:食事形態の常食化

排便:下剤を服用せずに自然排便を促す

歩行:歩行器を使用した歩行訓練

②生活の中に楽しみをつくる

施設内散歩

食事提供方法の検討:目でも楽しめる食事

【結果・評価】

- 水分摂取量:1398ml/1日
⇒2009ml/1日
- 栄養:粥・超みじん、小分け提供
⇒米飯・刻み、お膳で提供
- 排便:不定期、センナ茶を毎日飲用
⇒朝食後のトイレ誘導実施、
-3日でセンナ茶飲用、
自然排便が見られた
- 歩行:車椅子歩行
⇒フロア内は歩行器にて歩行



「トイレへの歩行から

気分転換・楽しみに繋がる歩行へ」

- ・トイレ誘導時、エレベーターを見ると「こっち」と行きたい所を訴えた。
- ・1階の事務所で「こんにちは」と挨拶。
- ・医務室にてお茶を飲み、お菓子を食べながらの
いっぶく、看護師との会話。

※歩行する事で生活範囲も広がり、生活範囲が広がる事で他の人(利用者・職員)とも関わりが増えた。

笑顔も見られ歩行も安定



「食べるだけ食事から

目でも楽しめる食事へ」

- ・果物やパンはそのままの形状で提供。
自分で皮を剥き、一口大にちぎり、味わって食べている。
- ・お膳で提供。
自分の好きな物を選ぶ事ができ、ゆっくりと食事を食べている。

※「おいしい」「ありがとう」等の言葉が自然に聞かれるようになり、会話の内容も辻褄が合うようになった。

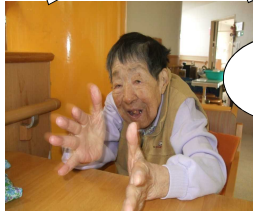


今日も穏やかに笑顔で過ごしています。

いいんきだ
なあ)o(

おいしい
(#.:#)

ごちそうさま
(*_^*)



しすかだ
な~(^^)

ご清聴ありがとうございました